

別紙

ライフジャケット安全啓発・着用推進に関する当会の取り組み

(1) ジャパンフィッシングショー2017 での取り組み

① 内容・展示及び実演場所

- a) 「レジャー用ライフジャケット(固形式)」展示 <B-335 ブース>
- b) 膨脹式ライフジャケット無料点検実施 <D-120 ブース>
- c) 第三管区海上保安本部によるライフジャケット着用講習 <メインステージ>

② 開催日時

2017年1月20日(金)から1月22日(日)まで3日間

1月20日(金) 10:00~18:00

1月21日(土)、22日(日) 9:00~17:00

※ c) 第三管区海上保安本部によるライフジャケット着用講習は下記時間のみ

1月21日(土)及び22日(日) 14:40~14:55

③ 会場 パシフィコ横浜展示ホール (神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1番1号)

(2) レジャー用ライフジャケット(固形式)PR 活動につきまして <予定>

① ポスター等の店頭掲示

② 消費者の皆様に向けた統一 PR その1 Lタグ



③ 消費者の皆様に向けた統一 PR その2 啓蒙タグ

④ 商品選択のご参考資料 使用環境ガイドライン

「レジャー用ライフジャケット（固定式）」の使用環境ガイドライン

「レジャー用ライフジャケット（固定式）」とは、浮力・強度・水上での性能（浮遊姿勢など）・着心地等の試験基準を満たしたライフジャケットです。その性能確認試験基準は、平成26年度に日本小型船舶検査機構を事務局とする「レジャーで使用する個人用の浮力補助具に関する業界の性能基準策定に係る委員会」が策定主体として検討し、定めた基準です。

大人用(体重40kg以上)			
ランク	L1	L2	L3
浮力	11.7kg以上	7.5kg以上	5.85kg以上
使用環境	磯 ※1		
	防波堤 ※2		
	筏・カセ ※3		
	海釣り施設 ※4		
	サーフ・河口域 ※5		
	淡水域での岸釣り ※6		

(表注)浮力は、表示重量の鉄片を淡水中に24時間以上吊下げる力を示したものです。ランクがまたがる使用環境で適応表に迷われた場合は、1ランク上の商品をご使用頂くことをおすすめします。

- ※1：外洋に置いた沖磯など、潮流が早く、波の高い磯場がメインとなる場合は、L1をおすすめします。
- ※2：外洋に置いた沖磯をメインにする場合は、L1をおすすめします。波の穏やかな港湾内にある堤防等ではL3もおすすめします。
- ※3：波が荒めの場所や危険が伴う可能性がある場合はL2のご使用をおすすめします。
- ※4：海釣り公園や堤防などの海釣り施設でご使用頂けます。波が荒めの場所や堤防が高く危険が伴う可能性がある場合にはL2のご使用をおすすめします。
- ※5：波が高い場所での釣行される場合にはL2のご使用をおすすめします。
- ※6：琵琶湖や霞ヶ浦のような大型淡水域では、L2のご使用をおすすめいたします。

子供用(12歳未満)		
ランク	LC1	LC2
浮力	5kg以上	4kg以上
対象者	体重15kg以上40kg未満 ※7	体重15kg未満 ※7

※7：子供用は体重を目安にお選び頂き、40kg以上の場合は大人用から体格に合ったものをお選び下さい。

安全のために、ライフジャケットを着用しましょう。

～ 船釣りをされる方へ ～

- ① 「レジャー用ライフジャケット（固定式）」は小型船舶の法定備品として使用できません。
- ② 法令や条例で救命具の着用義務等が定められている場合には、国土交通省型式認定品(桜マーク)を着用してください。

～ 安全に釣行頂くために ～

ライフジャケットを安全にご使用頂くために……

- 各メーカーの取り扱い説明書を必ずご覧下さい。
- ライフジャケットを着用する際は、ファスナーなどをしっかりと閉めて着用して下さい。
- 襟具（胴部や肩ベルト）、股ベルトを有しているライフジャケットは、身体にフィットするように襟具を調整し、股ベルトはしっかりと付け着用して下さい。
- 夏季と冬季では衣服などの厚みにより、着用サイズは変化します。都度調整して下さい。
- ご自身の身体に合ったライフジャケットをお選び下さい。
- 浮力表示はポケット等に何も入れていない状態の浮力です。メタルジグやオモリなどを入れすぎると浮力性能に影響が出ますのでご注意ください。

～ 釣行上の注意事項 ～

- 法令や条例で救命具の着用義務等が定められている場合は、法令などで定められた要件を満たすものを着用して下さい。
- ライフジャケットはあくまで浮力を補助するための用具です。生命の保証をするものではありません。
- 法令や条例などで、釣りが禁止されている場合があります。ご注意ください。
- 気象・海象には十分に注意し、単独釣行は避け、決して無理をしないようにして下さい。
- 海難人身事故に遭遇、目撃など緊急の場合は、海上保安庁「海のもしも（118番）へ」
- もしもの場合に備えて、防水バックへの携帯電話の収納など、通信手段の確保に心がけて下さい。

⑤ ホームページの設置

⑥ CS マーク及び製品表示例



CSマーク

CSマーク(JCIによる性能鑑定済みマーク) が本体に表示された「レジャー用ライフジャケット(固型式)」は日本小型船舶検査機構(JCI)の性能鑑定を受け、一定の基準(浮力、強度、水上での性能等)を満たしていることが確認されている「レジャー用ライフジャケット(固型式)」です。

レジャー用ライフジャケット(固型式) 標示欄の表示例

(表示例)

	性能鑑定 16-000
レジャー用ライフジャケット	
型 式	●●-●●型
製 造 者	●●●●
ロット番号	●●●●●●●●
規 格	L2 大人用 (浮力 7.5kg 以上 /24H)
<small>この製品は、「レジャーで使用する個人用の浮力補助具に関する業界の性能基準策定支援技術委員会」によって策定された「レジャー用ライフジャケットの性能確認試験基準」に適合しているものです。小型船舶の法定備品としては使用できません。</small>	
<small>・ 使用後は、汚れた部分を濡らせた布等で軽くたいて汚れを落とすしてください。 ・ 水洗いする場合には、たらいなどに水を溜めて、軽く押し洗いしてください。洗剤を使用する場合には薄めた中性洗剤を使用し、よくすすいでください。水洗いの後は、直射日光のあたらない風通しの良い所で完全に乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。 ・ 洗濯機で洗ったり、漂白剤やシンナーで洗浄しないでください。</small>	

性能鑑定番号
型式毎に番号が付いています。

ライフジャケットの型式名称です。

ライフジャケットを製造したメーカー
を表しています。

ロット番号が製造番号が表示されています。

ライフジャケットの規格を表しています。

ライフジャケットの取り扱い注意事項や、
保管方法が記載されています。